

**就職・採用活動日程に関する関係省庁連絡会議 幹事会（第5回）
議事要旨**

【開催要領】

1. 開催日時：2023年9月13日（水）16:00～17:10
 2. 場所：内閣府特別大会議室
 3. 出席者：

議長	江浪 武志	内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）
構成員	吉住 秀夫	内閣官房内閣参事官（内閣官房副長官補付）
同	吉田 光成	文部科学省高等教育局学生支援課長
同	谷口 正範	厚生労働省人材開発統括官付参事官 （若年者・キャリア形成支援担当参事官室長）
代理	川久保 俊	経済産業省経済産業政策局産業人材課課長補佐
事務局	高橋 洋明	内閣官房内閣事務官（内閣官房副長官補付）
関係者	新田 秀司	日本経済団体連合会労働政策本部長
同	池田 三知子	日本経済団体連合会SDGs本部長
有識者	常見 陽平	千葉商科大学 国際教養学部准教授
同	住田 暁弘	東京都市大学 学生支援部長
同	平尾 元彦	山口大学 教育・学生支援機構 学生支援センター教授
同	片岡 弘至	三井物産株式会社 人事総務部採用企画室長
同	村田 祥太郎	三井物産株式会社 人事総務部採用企画室マネージャー
- ※平尾教授は、オンライン参加。

【議事次第】

1. 開会
2. 議長挨拶
3. 議事
学生の就職・採用活動の実情等について
4. 閉会

【資料】

- 資料1 千葉商科大学 国際教養学部 常見准教授 提出資料
資料2 山口大学 教育・学生支援機構 平尾学生支援センター教授 提出資料
資料3 東京都市大学 住田学生支援部長 提出資料
資料4 三井物産株式会社 人事総務部採用企画室 提出資料
資料5 厚生労働省 提出資料

資料6 文部科学省 提出資料

- 参考資料1 就職・採用活動日程に関する関係省庁連絡会議の開催について
- 参考資料2 就職・採用活動日程に関する関係省庁連絡会議幹事会の構成員の官職の指定について
- 参考資料3 2024年度卒業・修了予定者等の就職・採用活動に関する要請等

【概要】

- (1) 冒頭、議長の江浪内閣官房内閣審議官から挨拶。
 - (2) 千葉商科大学 国際教養学部准教授 常見 陽平様から資料1について説明。
 - (3) 山口大学 教育・学生支援機構 学生支援センター教授 平尾 元彦様から資料2について説明。
 - (4) 東京都市大学 学生支援部長 住田 暁弘様から資料3について説明。
 - (5) 三井物産株式会社 人事総務部採用企画室 マネージャー 村田 祥太郎様から資料4について説明。
 - (6) 厚生労働省から資料5について説明。
 - (7) 文部科学省から資料6について説明。
 - (8) このほか出席者からの主な意見は以下のとおり。
- どのような事例がオワハラに当たるのか曖昧さがあることにより、学生から異議申し立てをしやすという面もある。ポイントは、限度を超える不必要なアプローチにより学生が圧を感じるかどうか。大学も様々な取組を行っているが、そのメッセージがどこまで学生に届いているのか。また、企業もハラスメントと思わずにやっつけてしまっている場合があり、啓発が重要。
 - 学生から承諾書を得ること自体というより、来週末までに提出しないと内定を取り消す、といった事例や、損害賠償の記載を含む文面が問題。推薦状についても、大学側が過剰に反応している点もあると認識しており、企業側も就活生の人となり把握するために推薦書の提出を求める場合もあるのではないかと考えるが、採用プロセスの途中や内定後に入社を保証を求める意図でとるようなものは不適當ではないか。
 - 心理的プレッシャーを与えるなど、学生が嫌だと感じる何らかの制限を行うことがハラスメント。だからこそグレーであると思う。そもそも10月1日以前に決めさせること、自由を制限すること自体がよくないと思うが、早く拘束する力学が働いている点をどう考えるか。後付け推薦は企業が本人だけでなく大学関係者など周りの人間関係を巻き込み、周りの人に惑をかけることになるといった従来と異なるプレッシャーを学生にかけてきている点が問題。
 - よくある相談としては、内々定を告げる条件として他社の選考辞退をせま

るものが多い。ハラスメントと聞くと威圧的なものを想像するが、必ずしもそうではなく、優しい口調ながらも就活を終わらせるメッセージのものもある。